

結んだりほごいたり

カーテンの布地に焦点が合うまで待っていい朝
壁とベッドのすきまに落ちている携帯と

すべての視力を寝かせたまま外へ

試しにポケットを裏がえしてみる

今日は何も持っていないようだった

呼ばれないし期待されない

何にも近くない日にはちょうどよかった

一人ひとりの歩みが散らばる大通り

パンプスの留め具がはずれて

足を持ち上げるたびに顔を出すかかどが

靴もアスファルトも踏みつけてあざやかに痛む

広がっている髪をぐさぐさとまとめれば

うまく見放されていく気がした

でもいまと距離を置くのだとして

私はどこへ帰っていくのか

のびていく影を頼りに

自分なりの呼吸をつかもうとする

ふだん投げかけられている矢印たちが

すっかり消え失せる瞬間を目がけて